



西伯小だより

SINCE 1967
令和8年2月3日
NO.493

南部町立西伯小学校
〒683-0351
南部町法勝寺 336 番地
☎0859-66-2215

■学校教育目標：ふるさとに誇りをもち、夢や目標に向かって、仲間とともにたくましく生きる児童の育成

かけがえのない「いのち」と「つながり」を大切に

校長 安達 嘉也

寒さが依然として厳しい2月ですが、季語では、「立春」、「初春」と表すように春の訪れを感じさせる時期にもなりました。春には満開となる桜の木も地中でそして幹の中で着々と準備をしていることと思います。学校も今年度のまとめとともに、新年度に向けて準備を進めています。今月は、いのちの参観日、新入学説明会、そして3月上旬には6年生を送る会を予定しています。

いのちの参観日は、ご案内の通り今週の6日（金）に行います。この行事の意義は、「自分はかけがえのない存在であること」を再確認し、同時に「他者の痛みや喜びを共感できる心」を育てることにあります。道徳や学級活動の時間を通して、生命の誕生や心身の成長について学びます。ご家庭におかれましても、お子様の生まれた時の様子や、これまでの成長の喜びをぜひこの機会にお話しただければと思います。また、今年度は会議室に性教育に関する書籍等を準備します。ご家庭で「子どもが思春期を迎えるけれど、家でどんな話をすればよいのだろう」などという疑問や不安に少しでも対応できればと思います。ぜひ会議室にお立ち寄りください。

また、13日（金）の新入学説明会では、新入学児童を迎え、1年生と5年生が交流をします。1年生は、お兄さん、お姉さんとして学校の楽しさを伝えることで、自分たちの成長を実感することでしょう。また5年生は最上級生になる自覚をもち、小さな子に寄り添い、やさしく接する経験を積むことでしょう。そして来月3日（火）の6年生を送る会では、5年生が中心となって企画し、全校であたたかい時間を創り上げます。6年生から5年生へ最高学年としてバトンを渡す大切な集会でもあります。

かけがえのない「いのち」と「つながり」を大切に感じられる、そして子どもたちの心が大きく成長するこの2月を充実させていきたいと思っています。

～1月30日・先生シャッフル交流給食の様子～



■全国学校給食週間

1月26日～30日、学校給食週間の取組を行いました。毎日の給食でお世話になっている給食センターの調理員さん、野菜や魚などの食材に関わってくださる方々、米作り農家さんなどに感謝の気持ちを伝える手紙を書いたり、いつもとは違う先生と一緒に給食を食べたりしました。毎日の美味しい給食には多くの方々が関わっておられることを知り、改めて感謝の気持ちをもつことができたと思います。交流給食では、楽しそうに給食を食べる姿が見られました。

■避難訓練・3年生防犯教室

1月28日、米子警察署、法勝寺駐在所の方にお世話になり、不審者が学校へ侵入した想定での避難訓練を行いました。放送を聞いた子どもたちは、落ち着いて避難行動をとることができました。

また、3年生は防犯教室を行い、知らない人から声をかけられるなどした時に、どのように行動をして自分の身を守るかについて、「いかのおすし」をキーワードにわかりやすくお話をいただきました。警察の仕事についてお話を聞く時間もつくっていただき、学びの多い時間となりました。



■お世話になり、ありがとうございます

5・6年生の家庭科の調理実習では、地域の方に手助けやアドバイスなどのご協力をいただきながら、5年生はごはんのみそ汁、6年生はグループごとに自分たちで献立を決めて、炒め物や汁物を調理しました。ご支援をいただいたおかげで安全に、そして美味しく調理ができました。調理実習を通して、献立の立て方、調理の技術などを学習するだけでなく、日々の食生活をふりかえったり、これからの食生活について考えたりもしました。5年生は今月も調理実習で、2年生は九九の学習でCSの学習支援部さんを中心に地域の方や保護者の方にお世話になります。いつも様々な場面でご協力をいただき感謝申し上げます。引き続きよろしくお願いいたします。



■安全に登下校を

寒い日が続く、登下校中に雪が降ることもありますが、子どもたちは元気に登下校をしています。交通安全についての指導は繰り返し行っているところですが、先日も大きな道路を渡ろうとして急に横切った子がおり、車が急ブレーキ、ということがあり、とても危なかったと地域の方からご連絡をいただきました。学校でも引き続き安全な登下校について指導をしていきますが、ぜひご家庭でも道を横断するときは、必ず横断歩道を渡る、たとえ信号が青でも車が止まるのを確かめる、急に飛び出さないなど、通学路の状況に沿った様々な場面を想定しながら、安全な登下校についてお話をしていただけたいと思います。

子どもたちの安全な登下校を見守っていきたいと思います。